

タイトル

会議における「7人ルール」を知っていますか？

種別

投稿者

内容

先日開催した那珂川市まちづくり住民参画推進委員会にて、各課が昨年度実施した住民参画の実施状況について報告しました。

その際に、構成員人数が多い審議会等について、

「発言者の偏りを避けるために、会議における『7人ルール』の採用を促すよう周知してはどうか」との意見が出ました。

「7人ルール」とは、

会議時における参加人数が7人を超えると、そこから1人増えるごとに生産性が10%下がるというものです。

つまり、会議人数が17人になると、意思決定の有効性がほぼ完全に失われてしまうと言われています。

その理由は、会議に参加する人数が7人を超えると、「話し手」と「聞き手」に分かれるようになってしまい、

参加者それぞれの当事者意識が薄れてくるからです。

その結果、報告会のようにになってしまうため、建設的な意見のやり取りが出来なくなってしまうと言われています。

これを踏まえて、現在7名を超える委員で構成されている審議会等がある所属については、

例えば、意見交換の際は2グループに分けて話し合いをするなど、

出来るだけ7名以下で会議ができるような環境を作ることを検討していただければと思います。

また、今後新たに審議会等を立ち上げる場合は、委員の人数を7名以下で構成することを頭の片隅にいらしてくださいと幸いです。

